事務事業評価表

記入年月日

平成16年度	事業コード	11220	電話	042-769-9231		
担当部課名	保健福祉部 ▼	高齢者福祉	課 ▼	いきいき応援		
事務事業名	敬老会					
予算上の事務事業名	敬老事業(敬老会開催費)					

1 総合計画における位置づけ

政 策 名	▼ 第	1	章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第	2	節	いきいきとした高齢社会の創造	63以前 ▼ 年度
施策名	第	2	施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	63以前 ▼ 年度

2 実施根拠及び関連法令等

老人福祉法

「「敬老の日」を中心とする行事について」 昭和41年7月12日 社老第85号 老人福祉課長通知

3 事務の区分 4 経費の区分 5 事務事業の分類 6 受益者負担 その他の経費 市単独事業 なし 自治事務 •

7 事業概要

(1)事業の目的何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
77歳と80歳以上の高齢者を送迎バスで招待し、長寿を祝うとともに、歌謡ショーを	4月1日現在77歳と8	0歳
開催し日頃の労をねぎらう。	以上の市民	
	対象数	単位
	17,178	,
	17,170	

(3)平成15年度事業の内容…市が実際に行った事業の内容

平成15年度実施内容

実施日・場所 9月12日(金)から14日(日)・市民会館 内容 式典及び井沢八郎歌謡ショー他

参加者 4,116人

(4)個別計	画の概要	概要	
計画名	なし		
計画年次	年度~	年度	

8 評価指標 事業の目的達成度を計るための指標

1617年度は日標値

指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	扌	旨標の	推移(年度))
出席希望率	参加希望者数/参加対象者数		1 3	1 4	1 5	1 6	1 7
		y 50.	33½+	31パー セント	29パー セント	30½/h	30th
出席率	参加者数/参加希望者数	参加対象者の参加率を把握する	86½/h	87パー セント	82パー 82セント	85パー 85セント	85パー セント
	指標名 出席希望率	指標名 指標式・指標の単位 出席希望率 参加希望者数/参加対象者数	指標名 指標式・指標の単位 指標設定の意図 出席希望率 参加希望者数/参加対象者数 する。 敬老会への参加ニーズを把握する。 出席率 参加者数/参加希望者数 参加対象者の参加率を把握する。	指標名 指標式・指標の単位 指標設定の意図 打標設定の意図 出席希望率 参加希望者数/参加対象者数 する。 敬老会への参加ニーズを把握 する。 出席率 参加者数/参加希望者数 参加対象者の参加率を把握する。	指標名 指標式・指標の単位 指標設定の意図 指標の 出席希望率 参加希望者数/参加対象者数 する。 敬老会への参加ニーズを把握 する。 1 3 1 4 出席率 参加者数/参加希望者数 参加対象者の参加率を把握する。	指標名指標式・指標の単位指標設定の意図指標の推移(出席希望率参加希望者数/参加対象者数敬老会への参加ニーズを把握する。1 3 1 4 1 5出席率参加者数/参加希望者数参加対象者の参加率を把握する。	指標名 指標式・指標の単位 指標設定の意図 指標の推移(年度) 出席希望率 参加希望者数/参加対象者数 敬老会への参加ニーズを把握する。 1 3 1 4 1 5 1 6 出席率 参加者数/参加希望者数 参加対象者の参加率を把握する。

9 事業費等の年度別状況

【龙翎华似,下口】	ſ	金額単位	:	千円)
-----------	---	------	---	----	---

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決 算	決 算	決算 (見込み)	予算	予算 (見込み)
事	決算(予算)額	18,088	17,373	14,758	16,820	16,820
	人員・時間数					
業	人 件 費	12,549	12,549	11,525	11,925	11,925
	その他経費					
費	合 計	30,637	29,922	26,283	28,745	28,745
_ 4	寺 定 財 源					
対	象数(人)	18,915	16,248	17,178	17,487	18,900
単1	立あたり経費(円)	1,619.7	1,841.6	1,530.0	1,643.8	1,520.9

10 個別評価	<u>「(担当課による一次</u>	に評価)			
(1)達成度	A:達成している		・成果指標の達成度 □ 高 ☑ 中 □ 低		
評 価	B:一部達成していない	チェック 項目	・活動指標の達成度 ▽ 高 □ 中 □ 低		
В ▼	C : 達成していない		・事業目標の達成度 □ 高 ☑ 中 □ 低		
		説明	参加希望率は、30%を超えており高い率を示しているが、年々対象者が増える中年齢制限を加えながら3日間かけて実施している。		
(2)必要性	A:適応している		□ ・市民や社会のニーズにかなっている		
	B:一部適応していない	チェック	□ ·状況の変化(対象や内容)に対応している		
評 価	C:適応していない	項目	☑ ・当初設定した事業目的が達成されていない		
В ▼			□ ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある		
		説明	今後時代に則した事業に転換を図ってい〈必要がある。		
(3)有効性	A:有効である	チェック項	□ ・上位の施策、計画目的達成のために有効である		
評 価	B:一部有効でない	目	☑ ・期待された成果が得られている		
В ▼	C:有効ではない	説明	長寿を祝い社会に貢献されたことに感謝しその労をねぎらう。		
(4)効率性	A:優れている		▼ ・予算や人員に見合った効果が得られている		
	B:一部改善の余地がある	チェック	□ ・他市と比べてコストや効率性が優れている		
評価	C:改善の余地がある	項目	□ ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている		
C ▼			□ ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない		
		説明	バス送迎や演劇鑑賞等の見直しや、地域開催への移行について考える必要がある。		
(5)公平性	A : 公平である		▼ ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である		
評 価	B:一部公平でない	チェック項 目	□ ・受益者の費用負担は適正である		
B ▼	C:公平でない		□ ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)		
		説明	逐次見直しを行っている。(饅頭の廃止、対象年齢の見直し。)		
(6)成果の向	(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策 (7)今後の課題となっていること				
高齢社会に向	高齢社会に向け、時代に即した事業に転換を図る。 高齢人口増加による開催回数の増大による対象年齢、開催方法、内容の見直しが必要。				
11 総合評価	西(担当課による一)				
±=- /==	B ▼	旭日泊体 厚木市 2	の類似事業との比較 日間4回公演 73歳以上 バス送迎(約90台)有り 約4,200人参加		
評価					
△ ½	一				
_	今後の進め方				
	継続		こ関する説明		
<u> </u>	見直し)急増により、敬老会開催は難しくなる。今後は高齢社会に向けて、地域福祉の充実 E即した事業に転換を図っていく。		
	完了·廃止				
	完了(廃止)済				
1 2 一 \ 左=亚/2	あっょいん/シテ政部があ	△羊!- ⊦ マ	ー '欠 = 1 /		

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価) <今後の進め方:見直し>